



平成 27 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 塚 田 眞 人
 (コード番号：6879 東証第一部)
 問 合 わ せ 先 取締役常務執行役員 安 藤 潤
 経営管理本部担当
 T E L 03-6741-5742

平成28年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 8 月 11 日に公表した平成 28 年 3 月期第 2 四半累計期間の業績予想と、本日公表の実績に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 3 月期通期の業績予想につきましても下記とおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想数値と実績値との差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社に帰属する四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|---|--------|------|------|----------------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 31,000 | △300 | △200 | 10 | 0.22 |
| 実績 (B) | 29,767 | △183 | △91 | 33 | 0.76 |
| 増減額 (B-A) | △1,233 | 117 | 109 | 23 | |
| 増減率 (%) | △4.0 | — | — | 230.0 | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期) | 25,753 | 829 | 868 | 511 | 11.56 |

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-----------------------------|--------|-------|-------|---------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 76,000 | 1,500 | 1,600 | 1,100 | 24.70 |
| 今回修正予想 (B) | 71,000 | 700 | 800 | 440 | 9.88 |
| 増減額 (B-A) | △5,000 | △800 | △800 | △660 | |
| 増減率 (%) | △6.6 | △53.3 | △50.0 | △60.0 | |
| (ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期) | 55,651 | 1,747 | 1,664 | 1,246 | 28.07 |

(注) 通期の営業利益には、費用として買収に伴うのれん償却額 10 億円が含まれております。

差異及び修正の理由

平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績につきましては、当該期間に予定しておりました研究開発費発生が一部第 3 四半期以降にずれ込んだ事等により、利益が前回発表予想を上回ることとなりました。

通期連結業績予想につきましては、国内既存事業は堅調に推移しておりますが、SDI Media Central Holdings Corp. の株式取得により今期から開始した主に映像コンテンツの吹替え・字幕付けを行うメディア・ローカライゼーション事業において、一部地域の市場が想定ほど拡大せず売上高が当初の見込を下回りました。かつ経営管理に対する体制整備の一時的な費用等が増大して利益率が想定を下回ることが見込まれるため、売上高、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益を上記のとおり修正いたします。

なお、当初メディア・ローカライゼーション事業については通期で売上高 190 億円、営業損失 7 億円を予想しておりましたが、上記理由により売上高 160 億円、営業損失 18 億円（下期は売上高 105 億円、営業損失 10 億円）に修正させていただきます。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上